

一般社団法人

The 33<sup>rd</sup> General Scientific Meeting of  
Japan Academy of Esthetic Dentistry 2022



# 日本歯科審美学会 第33回学術大会

形態・色彩・機能、  
三位一体の歯科審美

プログラム  
・抄録集

会期 2022年10月15日(土)・16日(日)

会場 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館

〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2

大会長 新海 航一 日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 教授

実行委員長 遠藤 敏哉 日本歯科大学 名誉教授

準備委員長 鈴木 雅也 日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 准教授

後援 一般社団法人 新潟県歯科医師会

<https://shinsen-mc.co.jp/jaed33/>

一般社団法人 The 33rd General Scientific Meeting of  
Japan Academy of Esthetic Dentistry 2022



# 日本歯科審美学会 第33回学術大会

プログラム・抄録集

## 形態・色彩・機能、 三位一体の歯科審美

会期 2022年10月15日(土)・16日(日)

会場 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館  
〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2

大会長 新海 航一  
日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 教授

実行  
委員長 遠藤 敏哉  
日本歯科大学 名誉教授

準備  
委員長 鈴木 雅也  
日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 准教授

後援 一般社団法人 新潟県歯科医師会

■事務局 日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座  
〒951-8580 新潟市中央区浜浦町 1-8  
TEL 025-267-1500

■運営事務局 株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ  
〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1-6-14  
TEL 025-278-7232 FAX 025-278-7285  
E-mail: jaed33@shinsen-mc.co.jp

## 日本歯科審美学会 第33回学術大会

### 開催にあたって



一般社団法人 日本歯科審美学会 第33回学術大会

大会長 新海 航一 日本歯科大学新潟生命歯学部  
歯科保存学第2講座 教授

第33回学術大会の開催にあたりご挨拶申し上げます。本年7月から始まったオミクロン株のBA.5による感染拡大の第7波はこれまでをはるかに凌ぐ勢いで拡大しておりましたが、9月に入り減少傾向に転じました。また、政府からの厳しい行動規制はなく、大きなイベントも各地で開催されております。その背景としては、これまでのワクチン接種の効果で重症化率が低いことと経済優先があると思います。医療従事者や高齢者を対象とした4回目のワクチン接種が進んでいることも踏まえ、本大会は現地開催といたします。

さて、本学術大会のテーマは「形態・色彩・機能、三位一体の歯科審美」とさせていただきました。審美的に良好な口元は、いうまでもなく、きれいな「歯ならび」と「歯の形」そして「歯の色」から成り立ちますが、もう一つ忘れてならないのは、歯の機能です。形態や色を重視するあまり、大切な機能を軽視してはなりません。本学会は審美的歯科治療を志す歯科保存、歯科補綴および歯科矯正の3分野を中心とした歯科医師、歯科衛生士ならびに歯科技工士の方々から構成される点からも「三位一体」といえる学術団体であると思います。

そこで本大会は、シンポジウムとして、歯科保存分野では「長期的耐久性を考慮したダイレクトレストレーション」をテーマに、田代浩史先生、菅原佳広先生、ならびに須崎 明先生から、歯科補綴分野では「咀嚼機能と耐久性を重視した審美的補綴治療」をテーマに、三浦賞子先生、野本俊太郎先生、ならびに峯 篤史先生から、そして歯科矯正分野では「中高年者の歯周-矯正治療」をテーマに、岡下慎太郎先生と井筒大輔先生からご講演をいただきます。また、歯科衛生士セッションとして「口腔の審美・機能のメンテナンスにおけるチーム医療」をテーマに、金子 潤先生と石野由美子先生から、歯科技工士セッションとして「審美的歯科補綴治療を成功させるための情報伝達」をテーマに、黒田俊樹先生と小原信二先生からご講演をいただきます。さらに、理事長講演(大槻昌幸先生)、日本歯科医学会招待講演(川口陽子先生)、特別講演(池山和幸先生)、学術講演委員会企画講演(末瀬一彦先生と吉久保典子先生)、アドバンスセミナー(行田克則先生と貞光謙一郎先生)、教育講演(佐藤琢也先生と先田寛志先生)、ランチョンセミナー(高見澤俊樹先生)など、盛り沢山の企画講演がございますので、是非お楽しみください。

もちろんのことですが、会場内では万全な感染防止対策をとりながら大会運営を行う所存です。参加者の皆様も会場内での感染防止対策に関する注意事項をご確認いただき、また、日常の健康管理にも十分ご留意のうえでご参加いただきたいと思います。

また、今回は、ずっと中止されておりました会員懇親会を「会員交流会」として開催する予定です。感染防止のためかなり制約を受けることとなりますが、久しぶりに交流の場を設けたいと思います。ご参加を希望される方は、大変恐縮ですが、制約がかかることをご理解いただきたくよろしくお願い申し上げます。

## 日本歯科審美学会 歴代会長・理事長

年 度	所 属	会長・理事長（平成27年より理事長）
昭和63～平成3	東京歯科大学	羽賀 通夫
平成4～7	大阪大学	丸山 剛郎
平成8～11	愛知学院大学	平沼 謙二
平成12～13	新潟大学	岩久 正明
平成14～15	岩手医科大学	石橋 寛二
平成16～19	東京医科歯科大学	田上 順次
平成20～21	昭和大学	久光 久
平成22～23	東京歯科大学	佐藤 亨
平成24～25	愛知学院大学	千田 彰
平成26～28	みやうちデンタルクリニック（大阪）	宮内 修平
平成29～令和1	日本歯科大学	奈良陽一郎
令和1～令和2	明海大学	藤澤 政紀
令和3～	東京医科歯科大学	大槻 昌幸

（敬称略）

## 日本歯科審美学会学術大会一覧

回 数	開催年	大会長	所 属
第1回研究会	1988年	羽賀 通夫	東京歯科大学
第2回研究会	1989年	羽賀 通夫	東京歯科大学
第1回	1990年	羽賀 通夫	東京歯科大学
第2回	1991年	藤井 弁次	大阪歯科大学
第3回	1992年	平沼 謙二	愛知学院大学
第4回	1993年	和久本 貞雄	昭和大学
第5回	1994年	豊田 静夫	九州歯科大学
第6回	1995年	橋口 綽徳	松本歯科大学
第7回	1996年	石川 富士郎	岩手医科大学
第8回	1997年	丸山 剛郎	大阪大学
第9回	1998年	河野 篤	鶴見大学
第10回	1999年	岩久 正明	新潟大学
第11回	2000年	平井 敏博	北海道医療大学
第12回	2001年	羽生 哲也	福岡歯科大学
第13回	2002年	田上 順次	東京医科歯科大学
第14回	2003年	新谷 英章	広島大学
第15回	2004年	千田 彰	愛知学院大学
第16回	2005年	諏訪 富彦	諏訪歯科医院
第17回	2006年	川和 忠治	昭和大学
第18回	2007年	寺田 善博	九州大学
第19回	2008年	加藤 喜郎	日本歯科大学新潟
第20回	2009年	松村 英雄	日本大学
第21回	2010年	石橋 寛二	岩手医科大学
第22回	2011年	末瀬 一彦	大阪歯科大学
第23回	2012年	佐野 英彦	北海道大学
第24回	2013年	奈良陽一郎	日本歯科大学
第25回	2014年	吉山 昌宏	岡山大学
第26回	2015年	佐藤 亨	東京歯科大学
第27回	2016年	越智 守生	北海道医療大学
第28回	2017年	千田 彰	愛知学院大学
第29回	2018年	藤澤 政紀	明海大学
第30回	2019年	真鍋 厚史	昭和大学
第31回	2020年	山本 一世	大阪歯科大学
第32回	2021年	宮崎 真至	日本大学
第33回	2022年	新海 航一	日本歯科大学新潟

（敬称略）

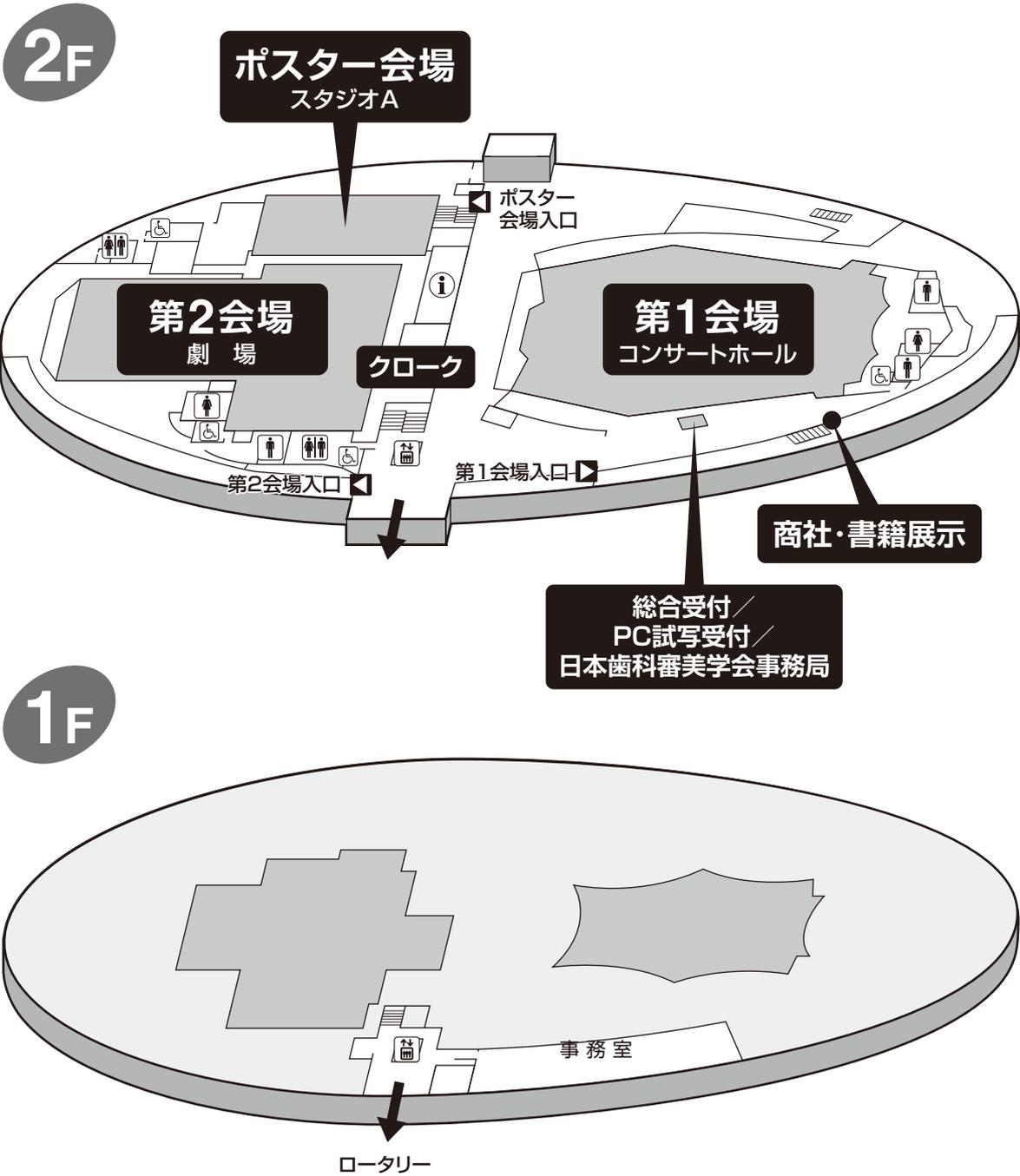
## 会場アクセス



- J R ……新潟駅下車 バスかタクシーをご利用下さい。  
越後線をご利用の場合は、白山駅下車 徒歩15分
- バ ス ……萬代橋ライン (BRT) 青山方面行「市役所前」下車 徒歩5分  
新潟駅万代口より所要時間15～20分
- タクシー……新潟駅万代口より約15分
- 車 ……●東京方面 (関越自動車道からの場合)  
新潟西料金所を出て、新潟バイパスにのり、桜木インターを左に下りる。  
昭和大橋方面へ直進後、昭和大橋を渡り終えた交差点を左折し300m。  
●福島方面 (磐越自動車道からの場合)  
新潟中央料金所を出て、新潟市内方面へ進む。  
女池インターから新潟バイパスにのり、次の桜木インターを左に下りる。  
昭和大橋方面へ直進後、昭和大橋を渡り終えた交差点を左折し300m。
- 駐車場 ……りゅーとぴあ専用の駐車場はございません。  
周辺駐車場：白山公園駐車場 (有料30分100円 大型車を除く)  
駐車スペースに限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

# 会場案内図

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館



## 参加者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、入場時は必ず検温と手指消毒を行ってください。  
また、「参加同意書」を事前にご記入の上、当日会場内のBOXにご提出をお願い申し上げます。

### 1. 事前参加登録がお済みの方へ

事前にプログラム・抄録集および参加証を発送しています。当日は忘れずにご持参ください。  
会場に到着後、受付にお立ち寄りいただく必要はございません。  
ネームホルダーをお取りいただき、そのまま会場へお進みください。

### 2. 当日参加登録の方へ

事前参加登録をされていない方は当日受付にてお手続きください。記帳台へ設置の参加登録用紙に必要事項を記入の上、当日受付に参加費とあわせてご提出ください。  
参加証にはご所属・氏名をご記入いただき、会場内では必ずご着用ください。

#### ◎当日参加登録について

日 時：10月15日(土) 8:45～17:00

10月16日(日) 9:00～15:00

場 所：2F ホワイエ

#### ◎参加費

区 分		事前参加登録	当日参加登録
正会員	歯科医師	11,000円	13,000円
	歯科医師以外	6,000円	8,000円
非会員	歯科医師	13,000円	15,000円
	歯科医師以外	7,000円	9,000円
	学生(大学院生を除く)	—	無 料

・学生(学部 / 歯科衛生士学校 / 歯科技工士学校)は、当日受付にて「学生証」をご提示願います。

### 3. その他ご案内

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として「3密」を避ける観点から、会場内での常時のマスク着用・消毒の徹底やソーシャルディスタンスの確保、事前登録制(当日参加登録受付の混雑緩和あるいは制限)、参加同意書のご提出、エレベーター利用での人数・会話の制限等にご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### ◆ 商社・書籍展示

日 時：10月15日(土) 10:00～17:00

10月16日(日) 9:30～15:00

場 所：2F ホワイエ

#### ◆ 講演会場

学会会場内でのビデオ・写真撮影等は、著作権保護のため、禁止させていただきます。

#### ◆ 会員交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し開催いたします。

日 時：10月15日(土) 18:30～19:30

場 所：新潟グランドホテル 3F 悠久

会 費：10,000円(当日会場でお支払いください。)

##### 〈会員交流会ご参加における留意事項〉

- ・マスク着用・マスク会食のご協力をお願いいたします。  
会話をされる際はこまめにマスクをご着用ください。
- ・こまめなアルコール消毒にご協力をお願いいたします。
- ・十分な距離を保つフィジカル・ディスタンシング(身体的距離の確保)にご協力ください。
- ・37.5℃以上の発熱をされている方、または体調の優れない方は、ご参加をご遠慮ください。

#### ◆ 日本歯科医師会会員の皆様へ

本学会大会は日本歯科医師会生涯研修事業に認定されております。日歯生涯研修 IC カードを忘れずにご持参ください。

#### ◆ 10月15日(土)の昼食について

10月15日(土)はランチョンセミナーの開催がございませんので、お弁当の販売を行います。ご購入された方は、第1会場、第2会場のロビー周りでお召し上がりください。

##### 〈お弁当販売について〉

販売場所：2F ホワイエ 総合受付周辺

販売時間：11:30～13:00

金 額：500円(税込) ※飲料は付きません。

※10月16日(日)は第2会場にてランチョンセミナーを開催いたしますので、ぜひご参加ください。(お弁当の販売はございません。)

# 座長・演者の皆様へ

## 口頭発表

### ◆ 演者の皆様へ

口頭発表はすべて PC を用いたプレゼンテーションとなります。

必ず PC 受付(下記参照)をお済ませの上、講演会場にお越しください。

- Windows10：Microsoft PowerPoint 2013以降のバージョン
- Macintosh および動画使用の場合：必ず PC 本体をご持参ください。

一般演題(口演)の発表時間は8分、質疑応答2分の1演題10分です。

### 【PC 受付】

受付場所：りゅーとぴあ 2F ホワイエ

受付時間：10月15日(土) 8:45～17:00

10月16日(日) 9:00～15:00

※ご発表の30分前までに試写と動作確認を行ってください。

- 受付されたデータは、サーバーに登録させていただき、メディアはその場で返却いたします。
- 受付でのデータ修正や編集はご遠慮ください。

### 〈PC お持ち込みの場合〉

PC は、PC 受付で確認後、ご自身にて発表会場内の PC オペレータ席(演台横)にお持ちください。

発表終了後、PC は発表会場内の PC オペレータ席にてご返却いたします。

### 【データ作成】

会場に準備する PC は、下記の通りです。

OS：Windows10

Macintosh および動画使用の場合は、必ず Windows で動作確認済みのデータをご持参いただくか、PC 本体をご持参ください。

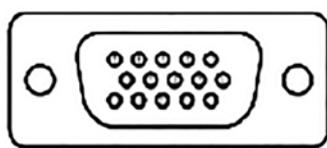
対応アプリケーション：PowerPoint 2013以降のバージョン

- 1) 動画ファイルを含む発表データには、所定の動画フォルダに動画データが格納されていることを事前にご確認ください。また、必ず事前に他の PC での動作確認を行ってください。
- 2) 音声出力や動画出力がある場合は、必ず係員にお申し出ください。
- 3) メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルスソフトを使用してウイルスチェックを行ってください。
- 4) 文字化けを防ぐため下記のフォントにて作成してください。  
日本語：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
英 語：Arial、Times New Roman、Century、Century Gothic
- 5) スライドのサイズはワイド画面(16:9)を推奨いたします。
- 6) 発表データは、USB メモリーまたは CD-R にてお持ちください。持込みメディアの中には、当日発表分のデータのみ入れてください。データのファイル名は、「セッション名【演題番号】【氏名】」としてください。

- 7) 発表者ツールは使用できませんのでご注意ください。また、スクリーンは1面投影です。
- 8) 発表データにリンクファイル(静止画・動画・グラフ等)の複数のデータがある場合は、1つのフォルダにまとめて保存してください。
- 9) データを CD-R にコピーする際には、ファイナライズ作業(セッションのクローズ・使用した CD のセッションを閉じる)を必ず行ってください。
- 10) 作成された PC 以外での動作確認を必ず行ってください。
- 11) お預かりしたデータは、学会終了後に主催者が責任をもって消去いたします。

#### 【PC 持込みの場合】

- 1) 会場のプロジェクターへは外部映像出力端子ミニ D-sub15 ピンもしくは HDMI(タイプ A)での接続となります。  
Macintosh や一部の Windows マシンでは変換コネクタが必要となりますので、必ずご持参ください。



ミニ D-sub15



HDMI(タイプ A)

- 2) バッテリーのみでの駆動はトラブルの原因となる可能性がございますので、AC アダプターを必ずご持参ください。
- 3) スクリーンセーバー、ウイルスチェック、並びに省電力設定(Macintosh の場合はホットコーナー)は予め解除してください。
- 4) PC 受付にて動作確認後、PC を発表会場の左手前方のオペレーター席へお持ちください。
- 5) 発表終了後、オペレーター席にて PC を返却いたします。
- 6) PC のトラブルにより映像の投影が不可能となっても、事務局では責任を負いかねます。  
必ずバックアップデータを USB メモリにてご持参ください。

#### • 次演者席

演者は、発表予定時刻の10分前までに次演者席にお着きください。

#### • 利益相反(COI) 該当の有無に関する開示が必要です。

発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に発表内容に関連した利益相反(COI)の有無を記載し、有りの場合はその詳細を開示してください。

利益相反(COI)についてはこちらをご確認ください。

<https://www.jdshinbi.net/information/coi.php>

#### • 学会講演規定に基づき、事後抄録の原稿(紙媒体)と電子記録媒体(CD-R)を2F ホワイエ総合受付内「日本歯科審美学会事務局デスク」までご提出をお願いします。

※大会当日お忘れの場合は、1週間以内に日本歯科審美学会事務局まで事後抄録の原稿(紙媒体)と電子記録媒体(CD-R)を郵送にてご提出ください。

## ◆ 座長の皆様へ

1. 座長は担当セッション開始10分前までに次座長席にお着きください。座長受付はありません。
2. 進行は時間厳守でお願いいたします。

### ポスター発表

ポスター貼付：10月15日（土） 9:30～10:00

ポスター掲示：10月15日（土）10:00～15:10

10月16日（日） 9:30～15:00

※ポスター討論：10月15日（土）15:20～15:50 座長進行による発表は行いません。

ポスター撤去：10月16日（日）15:00～15:30

1. ポスター会場（スタジオ A）内に設置している所定の位置にポスターを掲示してください。

2. 各演題2日間の掲示です。掲示と撤去は所定の時間内に実施してください。

縦 210 cm × 横 90 cm のパネルボードを用意します。演題番号（20 cm × 20 cm）は左上にあらかじめ貼付してあります。

貼付時間内に演題番号右横に演題名、所属、発表者氏名（○印発表代表者）のタイトル用紙を貼付してください。

3. 利益相反（COI）該当の有無に関する記載が必要です。ポスター内最下部に発表内容に関連した利益相反（COI）の有無を記載し、有りの場合はその詳細を開示してください。

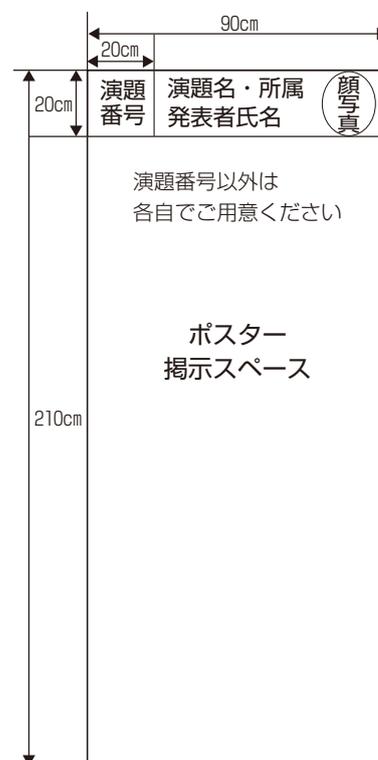
利益相反（COI）についてはこちらをご確認ください。

<https://www.jdshinbi.net/information/coi.php>

4. ポスター討論で、座長進行による発表は行いません。

発表者は討論時には演題番号に設置の発表者を示すリボンを胸につけてください。

ポスター討論の時間には、発表者はポスターの前に立ち、質疑応答に応じてください。



5. 資料の紛失、破損が生じても責任は負いかねますので複製したものをご使用ください。

6. ポスター撤去時間内に必ずポスターの撤去を行ってください。

撤去が行われていない場合は、破棄いたしますのでご注意ください。

7. 学会講演規定に基づき、事後抄録の原稿（紙媒体）と電子記録媒体（CD-R）を「日本歯科審美学会事務局デスク」までご提出をお願いします。

※大会当日お忘れの場合は、1週間以内に日本歯科審美学会事務局まで事後抄録の原稿（紙媒体）と電子記録媒体（CD-R）を郵送にてご提出ください。

## 認定医講習会・認定士講習会・ ホワイトニングコーディネーター更新講習会プログラム

本大会では、認定医・認定士資格の新規・更新申請ならびにホワイトニングコーディネーター資格の更新申請に有効なプログラムを設定しております(下記リスト)。

受講された方は、プログラム終了後に会場前で受講証を配布しますので、お受け取りいただき、資格申請時に参加証明としてください。

なお、下記の講習会を複数受講されましても、各制度における1回分のみ(認定医制度では2単位のみ、認定士制度・ホワイトニングコーディネーター制度では1回分のみ)となります。

認定医講習会プログラム	
シンポジウム1 「長期的耐久性を考慮したダイレクトレストレーション」	10月15日(土) 13:10～15:10
シンポジウム2 「咀嚼機能と耐久性を重視した審美的補綴治療」	10月15日(土) 13:10～15:10
日本歯科医学会 招待講演 ー日本歯科医学会の過去・現在・未来ー 「縦糸づくりと横糸づくりによる歯科界の発展を目指して」	10月15日(土) 17:10～17:40
シンポジウム3 「中高年者の歯周－矯正治療」	10月16日(日) 10:00～11:30
学術講演委員会企画講演 「口腔内スキャナー(IOS)を極める」	10月16日(日) 10:00～11:30
認定士講習会プログラム	
シンポジウム2 「咀嚼機能と耐久性を重視した審美的補綴治療」	10月15日(土) 13:10～15:10
日本歯科医学会 招待講演 ー日本歯科医学会の過去・現在・未来ー 「縦糸づくりと横糸づくりによる歯科界の発展を目指して」	10月15日(土) 17:10～17:40
学術講演委員会企画講演 「口腔内スキャナー(IOS)を極める」	10月16日(日) 10:00～11:30
歯科衛生士セッション 「口腔の審美・機能のメンテナンスにおけるチーム医療」	10月16日(日) 13:40～15:40
歯科技工士セッション 「審美的歯科補綴治療を成功させるための情報伝達」	10月16日(日) 13:40～15:40
ホワイトニングコーディネーター更新講習会プログラム	
特別講演 「人生100年時代、粧うことで自分らしく健康に」	10月15日(土) 16:00～17:00
日本歯科医学会 招待講演 ー日本歯科医学会の過去・現在・未来ー 「縦糸づくりと横糸づくりによる歯科界の発展を目指して」	10月15日(土) 17:10～17:40
学術講演委員会企画講演 「口腔内スキャナー(IOS)を極める」	10月16日(日) 10:00～11:30
歯科衛生士セッション 「口腔の審美・機能のメンテナンスにおけるチーム医療」	10月16日(日) 13:40～15:40

# 謝 辞

一般社団法人日本歯科審美学会 第33回学術大会を開催にあたり、下記団体・企業様より多大なるご協力を賜りました。ここに深甚なる感謝の意を表します。

一般社団法人 日本歯科審美学会 第33回学術大会

大会長 **新海 航一** 日本歯科大学新潟生命歯学部  
歯科保存学第2講座 教授

## 後 援

---

一般社団法人 新潟県歯科医師会

## 寄 附 金

---

クラレノリタケデンタル株式会社

ペントロン ジャパン株式会社

## 共催企業

---

ULTRADENT JAPAN 株式会社

## 抄録集広告掲載

---

医歯薬出版株式会社

クラレノリタケデンタル株式会社

株式会社ジーシー

株式会社ビーブランド・メディコーデンタル

株式会社モリタ

和田精密歯研株式会社

## Web 広告掲載

---

クラレノリタケデンタル株式会社

フィリップ モリス ジャパン合同会社

株式会社松風

## 商社展示

---

株式会社アパタイト

Ivoclar Vivadent 株式会社

ULTRADENT JAPAN 株式会社

株式会社オルコア

クインテッセンス出版株式会社

グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

サンメディカル株式会社

株式会社ジーシー

株式会社松風

スリーエムジャパン株式会社

デンツプライシロナ株式会社

株式会社東京技研

株式会社東京ミライズ

東洋羽毛北信越販売株式会社

ペントロン ジャパン株式会社

株式会社メイフラワー

株式会社茂久田商会

株式会社モリタ

株式会社モリムラ

ライオン歯科材株式会社

株式会社 Ray Japan

和田精密歯研株式会社

(敬称略・五十音順)

2022年9月現在

1日目 2022年10月15日(土)

	第1会場 コンサートホール	第2会場 劇場	ポスター会場 スタジオA	商社・書籍展示 ホワイエ
9:30			9:30~10:00 ポスター貼付	
10:00	9:50~10:00 開会式 10:00~11:50 <b>アドバンスセミナー</b> 包括的審美歯科治療の最前線 座長：武部 純 講師：行田 克則 貞光 謙一郎	10:00~11:10 一般口演	10:00 } 15:10  ポ ス タ ー 掲 示	10:00 } 17:00  商 社 ・ 書 籍 展 示
11:00				
12:00				
13:00	13:10~15:10 <b>シンポジウム 1</b> 長期的耐久性を考慮した ダイレクトレストレーション 座長：保坂 啓一 講師：田代 浩史 菅原 佳広 須崎 明	13:10~15:10 <b>シンポジウム 2</b> 咀嚼機能と耐久性を重視した 審美的補綴治療 座長：越智 守生 講師：三浦 貴子 野本 俊太郎 峯 篤史		
14:00				
15:00			15:20~15:50 ポスター討論	
16:00	16:00~17:00 <b>特別講演</b> 人生100年時代、 粧うことで自分らしく健康に 座長：藤澤 政紀 講師：池山 和幸			
17:00	17:10~17:40 <b>日本歯科医学会 招待講演</b> —日本歯科医学会の過去・現在・未来—	縦糸づくりと横糸づくりによる 歯科界の発展を目指して 座長：大槻 昌幸 講師：川口 陽子		
18:00				
18:30~19:30 <b>会員交流会</b> [会場：新潟グランドホテル]				

2日目 2022年10月16日(日)

	第1会場 コンサートホール	第2会場 劇場	ポスター会場 スタジオA	商社・書籍展示 ホワイエ
9:30	9:30~10:00 <b>理事長講演</b> 三位一体の審美歯科治療 座長：新海 航一 講師：大槻 昌幸		9:30 }	9:30 }
10:00	10:00~11:30 <b>シンポジウム 3</b> 中高年者の歯周 - 矯正治療 座長：橋場 千織 講師：岡下 慎太郎 井筒 大輔	10:00~11:30 <b>学術講演委員会企画講演</b> 口腔内スキャナー (IOS) を極める 座長：小川 匠 佐藤 祥子 講師：末瀬 一彦 吉久保 典子	15:00	15:00
11:00			ポ ス タ ー 掲 示	商 社 ・ 書 籍 展 示
12:00	11:40~12:30 <b>会務報告会・表彰式</b>			
13:00		12:40~13:30 <b>ランチョンセミナー</b> 安全で効果的な Dual Whitening のすすめ 座長：保坂 啓一 演者：高見澤 俊樹 共催：ULTRADENT JAPAN 株式会社		
14:00	13:40~15:40 <b>歯科衛生士セッション</b> 口腔の審美・機能の メンテナンスにおけるチーム医療 座長：中村 映子 講師：金子 潤 石野 由美子	13:40~15:40 <b>歯科技工士セッション</b> 審美的歯科補綴治療を 成功させるための情報伝達 座長：江本 朋弘 講師：黒田 敏樹 小原 信二		
15:00			15:00~15:30 ポスター撤去	
16:00	15:50~16:40 <b>教育講演 1</b> 拡大視野下における支台歯形成の Keynote. - 下顎左側臼歯部を例に - 座長：永井 茂之 講師：佐藤 琢也	15:50~16:40 <b>教育講演 2</b> 私の救歯臨床とその先の審美修復 (事実などない、あるのは解釈だけである。) 座長：若林 一道 講師：先田 寛志		
17:00	16:40~ <b>閉会式</b>			
18:00				

# プログラム

10月15日(土)

## 第1会場(コンサートホール)

開会式 9:50～10:00

アドバンスセミナー 10:00～11:50

座長：武部 純(愛知学院大学歯学部 有床義歯学講座)

### [ 包括的審美歯科治療の最前線 ]

#### AS-1 組織学から見たマージンの理想位置を探る

行田 克則

上北沢歯科

#### AS-2 包括的治療で審美と機能の長期獲得を目指す —デジタル機器をもちいて—

貞光 謙一郎

貞光歯科医院

シンポジウム1 13:10～15:10

座長：保坂 啓一(徳島大学大学院医歯薬学研究部 再生歯科治療学分野)

### [ 長期的耐久性を考慮したダイレクトレストレーション ]

#### S1-1 大規模ダイレクトレストレーションの長期経過

田代 浩史

田代歯科医院

#### S1-2 拡大視野による適合性が長期予後を向上できるのか？

菅原 佳広

月潟歯科クリニック

#### S1-3 う窩の開拡を再考する —長期予後の安定を目指したCR修復—

須崎 明

医療法人ジニア ぱんだ歯科

特別講演 16:00～17:00

座長：藤澤 政紀（明海大学歯学部 機能保存回復学講座 クラウンブリッジ補綴学分野）

## SL 人生100年時代、粧うことで自分らしく健康に

池山 和幸 株式会社資生堂

日本歯科医学会 招待講演 ー日本歯科医学会の過去・現在・未来ー 17:10～17:40

座長：大槻 昌幸（東京医科歯科大学大学院 う蝕制御学分野）

## IL 縦糸づくりと横糸づくりによる歯科界の発展を目指して

川口 陽子 日本歯科医学会

### 第2会場（劇場）

一般口演 10:00～10:20

座長：小峰 太（日本大学歯学部 歯科補綴学第Ⅲ講座）

#### O-1 積層型ディスクにおける垂直的加工領域が 4ユニットジルコニアブリッジの焼結ひずみに及ぼす影響

○平野 瑞穂、野本 俊太郎、川崎 貴裕、酒井 貴徳、四ツ谷 護、関根 秀志  
東京歯科大学 クラウンブリッジ補綴学講座

#### O-2 CAD/CAM セラミッククラウン審美修復の接着を向上させる 即時象牙質シーリング適用方法

○中澤 美和  
日本歯科大学 生命歯学部 接着歯科学講座

一般口演 10:20～10:40

座長：大森 かをる（鶴見大学歯学部 保存修復学講座）

#### O-3 ホワイトスポット病変の程度により治療法を使い分けた2症例

○高木 伸人<sup>1,2)</sup>、高木 香<sup>1)</sup>、保坂 啓一<sup>2)</sup>  
1) 門前仲町高木歯科、2) 徳島大学大学院 医歯薬研究部 再生歯科治療学分野

#### O-4 新規ホームホワイトニングが患者の意識改革を促した症例

○城生 麻里<sup>1)</sup>、新妻 由衣子<sup>2)</sup>、佐藤 祥子<sup>1)</sup>、坂本 奈津季<sup>3)</sup>、永里 咲恵<sup>1)</sup>、  
真鍋 厚史<sup>2)</sup>、小林 幹宏<sup>2)</sup>  
1) 昭和大学歯科病院 歯科衛生室、2) 昭和大学歯学部 歯科保存学講座 美容歯科学部門、  
3) 昭和大学病院 歯科・歯科口腔外科

**O-5 コンポジットレジン直接修復による永久歯先天欠如への審美回復症例**

○三木 仁志<sup>1)</sup>、田代 浩史<sup>2,6)</sup>、田上 順次<sup>3,6)</sup>、高垣 智博<sup>4)</sup>、保坂 啓一<sup>5)</sup>、  
佐藤 隆明<sup>6)</sup>、畑山 貴志<sup>6)</sup>、島田 康史<sup>6)</sup>

- 1) はばら歯科、2) 田代歯科医院、3) クォーツデンタルクリニック、  
4) 朝日大学歯学部 口腔機能修復学講座 歯科保存学分野歯冠修復学、  
5) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 再生歯科治療学分野、  
6) 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 口腔機能再構築学系専攻摂食機能保存学講座  
う蝕制御学分野

**O-6 正中離開に対する矯正治療とコンポジットレジン修復治療との  
コンビネーション治療 ～7年経過長期症例～**

○椋 由理子<sup>1)</sup>、保坂 啓一<sup>2)</sup>

- 1) むくのき歯科医院、2) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 再生歯科治療学分野

**O-7 重度酸蝕症患者に対し、咬合再構成を行なった1症例**

○安賀 稔、安賀 歩

- 医療法人 安賀歯科クリニック

**[ 咀嚼機能と耐久性を重視した審美的補綴治療 ]**

**S2-1 長期予後を得るためのジルコニア補綴歯科治療**

三浦 賞子

- 明海大学歯学部 機能保存回復学講座 クラウンブリッジ補綴学分野

**S2-2 前歯部における機能を考慮したメタルフリー修復**

野本 俊太郎

- 東京歯科大学 クラウンブリッジ補綴学講座

**S2-3 補綴装置および「歯」の延命 ～間接法の宿命と希望～**

峯 篤史

- 大阪大学大学院歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学分野

10月16日(日)

第1会場(コンサートホール)

理事長講演 9:30～10:00

座長：新海 航一(日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座)

## PL 三位一体の審美歯科治療

大槻 昌幸 東京医科歯科大学大学院 う蝕制御学分野

シンポジウム3 10:00～11:30

座長：橋場 千織(はしば矯正歯科)

### [ 中高年者の歯周－矯正治療 ]

#### S3-1 包括的なアプローチを要した中高年矯正患者

岡下 慎太郎

医療法人慎和会 岡下矯正歯科

#### S3-2 包括的歯科治療における矯正歯科治療の役割

井筒 大輔

医療法人社団 井筒歯科クリニック

会務報告会・表彰式 11:40～12:30

歯科衛生士セッション 13:40～15:40

座長：中村 映子(ナグモ歯科クワバラクリニック)

### [ 口腔の審美・機能のメンテナンスにおけるチーム医療 ]

#### DA-1 歯のホワイトニングの特性を考慮したメンテナンス

金子 潤

明海大学 保健医療学部 口腔保健学科

#### DA-2 歯科審美における口腔筋機能療法(MFT)の応用

石野 由美子

二子玉川ガーデン矯正歯科、昭和大学歯科病院 口腔機能リハビリテーション科

**EL-1 拡大視野下における支台歯形成の Keynote.  
— 下顎左側臼歯部を例に —**

佐藤 琢也 医療法人俊慈会 サトウ歯科

閉会式 16:40～

第2会場（劇場）

学術講演委員会企画講演 10:00～11:30

座長：小川 匠（鶴見大学 歯学部 クラウンブリッジ補綴学講座／鶴見大学 歯学部 歯科医学教育学講座）  
佐藤 祥子（昭和大学歯科病院 歯科衛生室）

[ 口腔内スキャナー（IOS）を極める ]

1 口腔内スキャナーの現状と活用のポイント

末瀬 一彦  
末瀬歯科医院

2 IOS を使った歯科衛生士のための新しいチェアサイドコミュニケーション

吉久保 典子  
小池歯科医院

ランチョンセミナー 12:40～13:30

座長：保坂 啓一（徳島大学大学院医歯薬学研究部 再生歯科治療学分野）

**LS 安全で効果的な Dual Whitening のすゝめ**

高見澤 俊樹 日本大学歯学部 保存学教室 修復学講座

共催：ULTRADENT JAPAN 株式会社

[ 審美的歯科補綴治療を成功させるための情報伝達 ]

**DT-1** チームアプローチのための情報共有

黒田 敏樹

医療法人社団輝樹会 黒田クリスタル歯科 吉祥寺

**DT-2** ジルコニア審美補綴装置製作をデジタル移行するためのコミュニケーション

小原 信二

有限会社グランツテクニカ

**教育講演2** 15:50～16:40

---

**EL-2** 私の救歯臨床とその先の審美修復

(事実などない、あるのは解釈だけである。)

先田 寛志 ナチュラルクリニック OSAKA、日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座

ポスター発表

**P-1** ジュエリーデンチャー<sup>®</sup>による、オーラルケアの改善

○山本 朋子<sup>1)</sup>、川島 哲<sup>2)</sup>

1)医療法人小嶋会 おしま歯科医院、2)有限会社ユニデント

**P-2** 介護老人保健施設職員に対する口腔衛生管理に関する調査

○小粥 照子

独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 歯科口腔外科

**P-3** AI解析による口腔健康管理システムに関する研究  
—プロジェクト開始から3年の経過報告—

○藤澤 政紀<sup>1)</sup>、三浦 賞子<sup>1)</sup>、新谷 明一<sup>2)</sup>、前野 雅彦<sup>2)</sup>、小峰 太<sup>3)</sup>、保坂 啓一<sup>4)</sup>、  
峯 篤史<sup>5)</sup>、佐藤 洋平<sup>6)</sup>、大久保 力廣<sup>6)</sup>、大槻 昌幸<sup>7)</sup>、金子 潤<sup>1)</sup>、山本 一世<sup>8)</sup>

1)明海大学歯学部 機能保存回復学講座 クラウンブリッジ補綴学分野、2)日本歯科大学、  
3)日本大学、4)徳島大学、5)大阪大学、6)鶴見大学、7)東京医科歯科大学、8)大阪歯科大学

**P-4** 歯科衛生士学科生を対象にした歯科審美に関する意識調査 第2報

○植松 裕美<sup>1,2)</sup>、北 大樹<sup>1,3)</sup>、中西 生美<sup>1,3)</sup>、河合 貴俊<sup>1,3)</sup>、安部 美紀<sup>1,3)</sup>、  
高柳 雅文<sup>3)</sup>、落合 知正<sup>1,4)</sup>、百瀬 恵美<sup>1,2)</sup>、石川 明子<sup>5)</sup>

1)日本歯科大学附属病院 ホワイトニング外来、2)日本歯科大学附属病院 歯科衛生士室、  
3)日本歯科大学附属病院 総合診療科、4)日本歯科大学附属病院 歯科技工室、  
5)日本歯科大学 生命歯学部 接着歯科学講座

**P-5** 女性の笑顔における歯冠色の違いが歯学部学生の男性および  
女性の印象評価に及ぼす影響

○牛窪 李紗、鳥井 克典、糸田 理沙、山本 真由、田中 順子、柏木 宏介

大阪歯科大学 有歯補綴咬合学講座

**P-6** 歯科用フェイススキャンシステムで採得した自然頭位の再現性

○篠崎 百合絵、佐藤 正樹、糸田 昌平、鳥井 克典、田中 順子、柏木 宏介

大阪歯科大学 有歯補綴咬合学講座

**P-7** 抜歯後歯槽骨吸収と上下前歯部のポジションを考慮し審美的に回復した一症例

○岡 正信<sup>1)</sup>、山本 晋平<sup>2)</sup>、池岡 岳<sup>3)</sup>、古谷 昌義<sup>4)</sup>

1)医療法人志学会 oka dental clinic、2)社会医療法人博寿会 山本病院、3)池岡歯科医院、  
4)フルヤ歯科医院

**P-8** 顔貌水平面を考慮した審美的な前歯部補綴の臨床例

○北島 馨、青柳 慶己、仲田 誠一

和田精密歯研株式会社 札幌センター

- P-9** 上顎4前歯を BOPT コンセプトクラウンに一部を BTA テクニックのハイブリッドとし、審美性を改善した症例  
 ○西 治<sup>1,7)</sup>、西 有紀江<sup>1,7)</sup>、黒田 俊樹<sup>2,7)</sup>、古谷 彰伸<sup>3,7)</sup>、笹木 孝夫<sup>4,7)</sup>、小原 信二<sup>5,7)</sup>、坪田 健嗣<sup>6,7)</sup>  
 1) 西歯科クリニック、2) 黒田クリスタル歯科吉祥寺、3) 勝田台フルヤ歯科、4) デンタルオフィスささき、5) グランツテクニカ、6) 赤坂フォーラムデンタルクリニック、7) 審美歯科 BTA 研究会
- P-10** Effect of enamel matrix derivative on avulsed tooth treatment  
 ○Hasan Md Riasat, Saito Takashi  
 Division of Clinical Cariology and Endodontology, School of Dentistry, Health Sciences University of Hokkaido
- P-11** 静脈内鎮静法を用いた歯周形成手術ならびに口腔機能修復治療を行った長期予後症例  
 ○武村 幸彦、向井 義晴  
 神奈川歯科大学 歯科保存学講座 保存修復学分野
- P-12** 歯周基本治療と矯正治療により歯肉退縮を改善した症例  
 ○有田 博一<sup>1)</sup>、杉山 晶二<sup>2)</sup>、折原 岳志<sup>1)</sup>、相馬 美樹<sup>1)</sup>、小林 和美<sup>1)</sup>、齋藤 哲也<sup>3)</sup>  
 1) 有田歯科医院、2) 杉山矯正歯科、3) ティーズテクニカルスタジオ
- P-13** 慢性歯周炎患者に対しマウスピース型カスタムメイド矯正装置を併用し前歯部審美修復治療を行った一症例  
 ○五十嵐(武内) 寛子<sup>1,2,3)</sup>、五十嵐 祐二<sup>3)</sup>、沼部 幸博<sup>1)</sup>  
 1) 日本歯科大学生命歯学部 歯周病学講座、2) 東京慈恵会医科大学 基盤研究施設、3) 五十嵐歯科室
- P-14** 前歯部叢生を伴う Angle I 級症例の長期保定  
 ○池田 忠貴  
 医療法人社団藍美会 あざみ野アクア歯科クリニック
- P-15** エナメルマイクロアブレーションがエナメル質の表面性状に及ぼす影響  
 ○柴崎 翔、高見澤 俊樹、林 佳奈、青木 良太、岩瀬 慶、横山 宗典、矢吹 千晶、宮崎 真至  
 日本大学歯学部 保存学教室 修復学講座
- P-16** イオン徐放性歯面研磨ペーストのエナメル質着色に対する影響  
 ○尾形 美和  
 北海道医療大学歯科クリニック 歯科衛生部
- P-17** ホワイトニング応用へ向けたチタニアナノチューブの高感度化と可視光応答化  
 ○西田 尚敬<sup>1,2)</sup>、保尾 謙三<sup>2)</sup>、岩田 有弘<sup>2)</sup>、藤木 傑<sup>3)</sup>、六人部 慶彦<sup>4)</sup>、中村 隆志<sup>5)</sup>、関野 徹<sup>1)</sup>、山本 一世<sup>2)</sup>  
 1) 大阪大学 産業科学研究所 先端ハード材料研究分野、2) 大阪歯科大学 歯科保存学講座、3) 藤木歯科医院、4) むとペデンタルクリニック、5) 大手前短期大学 歯科衛生学科

**P-18**    テトラサイクリン変色歯にオフィスホワイトニングを行った4年経過症例

○矢野 加奈子

広島大学病院 診療支援部 歯科部門

**P-19**    当院におけるホワイトニングの実施状況と臨床的検討

○辻 秀明、安藤 優、田中 愛美、牧野 祥太、錦見 尚暁、刈谷 匠吾、木村 友哉、  
今井 虹帆、宗宮 葵、安藤 雅康

医療法人メディカルアート 中央歯科クリニック

**P-20**    デュアルホワイトニングの臨床－ホワイトニング効果および知覚過敏の発現

○廣兼 榮造、高見澤 俊樹、三枝 眞、嶋谷 裕輔、高宮 寛、新井 由依子、  
宮崎 真至

日本大学歯学部 保存学教室 修復学講座

**P-21**    ホームブリーチの適用方法が漂白効果に及ぼす影響

○斉 楓、杜 紫娟、畑山 貴志、平石 典子、大槻 昌幸、島田 康史

東京医科歯科大学大学院 口腔制御学分野

**P-22**    ホームホワイトニングによる審美性獲得が患者の満足度に寄与した1症例

○栗谷川 輝、石川 明子

日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座

**P-23**    ブラケット矯正患者に対するホームホワイトニングの有効性

○新妻 由衣子、小林 幹宏、寺島 実華子、菅井 琳太郎、長谷川 正剛、池田 遼太、  
真鍋 厚史、山口 麻衣、星野 睦代

昭和大学歯学部 歯科保存学講座 美容歯科学部門

**P-24**    下顎骨骨切り後、正被蓋になった変色失活側切歯に  
ウォーキングブリーチを行い、患者の満足度を得られた症例

○坂本 紗有見<sup>1)</sup>、田中 麻里江<sup>1,2)</sup>

1) 銀座並木通りさゆみ矯正歯科デンタルクリニック81、2) 市川歯科

**P-25**    ダイレクトボンディングによる歯間空隙閉鎖症例：術後4-6年経過

○浅井 哲也<sup>1)</sup>、渡部 平馬<sup>2)</sup>

1) 浅井歯科医院、2) 大通り歯科

**P-26**    上顎前歯部にMIのダイレクトベニアで審美修復を行った  
スマイルメイクオーバーの長期症例

○権藤 ひとみ

ひとみデンタルクリニック

- P-27** 2級コンポジットレジン修復の隔壁法に関する考察  
○新海 航一  
日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座
- P-28** 象牙質に対する各種セルフエッチングシステムの接着強さ  
○陶山 雄司  
国家公務員共済組合 虎の門病院 歯科
- P-29** 新規自己接着性コンポジットレジンの歯質接着性の検討  
○石井 亮<sup>1,2)</sup>、青木 良太<sup>1)</sup>、大内 元<sup>1)</sup>、高見澤 俊樹<sup>1,2)</sup>、宮崎 真至<sup>1,2)</sup>  
1) 日本大学歯学部 保存学教室 修復学講座、2) 日本大学歯学部 総合歯学研究所 生体工学研究部門
- P-30** 各種ベースセメントの象牙質接着性  
○矢吹 千晶<sup>1)</sup>、石井 亮<sup>1,2)</sup>、笠原 悠太<sup>1)</sup>、嘉月 駿<sup>1)</sup>、高見澤 俊樹<sup>1,2)</sup>、  
宮崎 真至<sup>1,2)</sup>  
1) 日本大学歯学部 修復学講座、2) 日本大学歯学部 総合歯学研究所 生体工学研究部門
- P-31** 窩洞模型を使用したユニバーサルシェード型コンポジットレジンの  
色調比較評価  
○水田 悠介  
YAMAKIN 株式会社
- P-32** 表面粗さの違いがシングルシェードコンポジットレジンの  
色調適合性に及ぼす影響  
○黒川 弘康<sup>1,2)</sup>、三枝 真<sup>1)</sup>、小森谷 康司<sup>1,2)</sup>、高橋 奈央<sup>1)</sup>、宮崎 真至<sup>1,2)</sup>  
1) 日本大学歯学部 保存学教室 修復学講座、2) 日本大学歯学部 総合歯学研究所 生体工学研究部門
- P-33** 歯科材料を用いたユニバーサルシェードコンポジットレジンの  
シェードマッチング評価  
○山口 耀平<sup>1)</sup>、新海 航一<sup>1,2)</sup>、鈴木 雅也<sup>2)</sup>、大野 寛<sup>1)</sup>、高橋 天佑<sup>1)</sup>  
1) 日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科 硬組織機能治療学、  
2) 日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座
- P-34** ユニバーサルシェードレジン充填による齲蝕検知能力の検討  
○矢後 亮太郎、川本 千春、呉 迪、弥勒院 択良、松尾 友太、遠山 晏梨、  
田中 享、ヤマウチ モニカ、佐野 英彦  
北海道大学大学院歯学院 口腔健康科学分野 歯科保存学教室
- P-35** 光重合型コンポジットレジンの色調に背景色がおよぼす影響について  
○西谷 佳浩<sup>1)</sup>、伊藤 誠之<sup>1)</sup>、星加 知宏<sup>1)</sup>、梶村 幸市<sup>2)</sup>  
1) 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 歯科保存学分野、2) ユアーズ歯科 柏クリニック

- P-36**      ペーストタイプ充填用コンポジットレジンの耐着色性評価  
○大宮 圭司、篠崎 裕  
株式会社ジーシー
- P-37**      混合組成積層型ジルコニアの透光性および色調に関する研究  
○田中 秀和、山添 正稔  
YAMAKIN 株式会社
- P-38**      イットリア含有量の異なる高透光性ジルコニアクラウンの低温劣化が  
色調に及ぼす影響  
○三浦 賞子<sup>1)</sup>、新谷 明一<sup>2)</sup>、藤田 崇史<sup>1)</sup>、塚田 翔平<sup>1)</sup>、藤澤 政紀<sup>1)</sup>  
1) 明海大学歯学部 機能保存回復学講座 クラウンブリッジ補綴学分野、  
2) 日本歯科大学生命歯学部 歯科理工学講座
- P-39**      CAD/CAM インレー向けハイブリッドレジンプロックの耐着色性評価  
○棚澤 公貴、篠崎 裕  
株式会社ジーシー 研究所
- P-40**      前歯 CAD/CAM 冠用ハイブリッドレジンプロックの着色性評価  
○高橋 圭、神農 泰生、吉山 昌宏  
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科保存修復学分野
- P-41**      レジンセメントによる CAD/CAM 冠審美性への影響  
○石渡 健、篠崎 裕  
株式会社ジーシー
- P-42**      隣接歯が目標歯の色調に与える影響  
○佐々木 雅義<sup>1)</sup>、楠本 哲次<sup>2)</sup>、樋口 鎮央<sup>2)</sup>  
1) 大阪歯科大学大学院 医療保健学研究科 口腔科学専攻博士課程(後期)、  
2) 大阪歯科大学医療保健学部 口腔工学科
- P-43**      シェードマッチングにおけるシェードタブを用いた比色方法が  
色調に及ぼす影響  
○楠本 哲次<sup>1)</sup>、佐々木 雅義<sup>2)</sup>、樋口 鎮央<sup>1)</sup>  
1) 大阪歯科大学医療保健学部 口腔工学科、  
2) 大阪歯科大学大学院 医療保健学研究科 口腔科学専攻博士課程(後期)
- P-44**      天然歯の歯頸部から切縁部にかけての透過性および  
色調の変化の発現に関する多面的解析  
—形態と構造の評価—  
○並河 雅也<sup>1)</sup>、若林 一道<sup>1)</sup>、大住 雅之<sup>2)</sup>、田中 美裕<sup>1)</sup>、田宮 紳吾<sup>1)</sup>、工藤 博貴<sup>1)</sup>、  
西山 貴浩<sup>1)</sup>、中村 隆志<sup>3)</sup>、石垣 尚一<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学大学院 歯学研究科 顎口腔機能再建学講座(クラウンブリッジ補綴学分野)、  
2) オフィス・カラーサイエンス、3) 大手前短期大学 歯科衛生学科

- P-45** CAD/CAM 用ニケイ酸リチウムガラスセラミックブロックの耐摩耗性評価  
○山本 浩嗣、篠崎 裕  
株式会社ジーシー
- P-46** PEKK 樹脂を応用したジルコニア・ダブルクラウンの維持力および浮き上がり量  
○堀 圭佑、鳥井 克典、糸田 昌平、山本 真由、田中 順子、柏木 宏介  
大阪歯科大学 有歯補綴咬合学講座
- P-47** エッジロスの低減を目的としたインレー窩洞の検討  
○油井 知雄<sup>1)</sup>、伊藤 修一<sup>2)</sup>、松田 康裕<sup>1)</sup>、疋田 一洋<sup>3)</sup>、斎藤 隆史<sup>1)</sup>  
1) 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 う蝕制御治療学分野、  
2) 北海道医療大学歯学部 総合教育学系 歯学教育開発学分野、  
3) 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 デジタル歯科医学分野
- P-48** ラボサイドから見た光学印象法とマージン設定の傾向について  
○加藤 徹、山下 正晃、越智 宥帆  
和田精密歯研株式会社
- P-49** 口腔内スキャナーを用いて加圧成型法で製作したニケイ酸リチウム含有ガラスセラミックス修復を行った3症例  
○池田 欣希、木村 一誠、守本 勝幸、森 幸徳、森 憲弥  
医療法人仁友会 日之出歯科診療所
- P-50** キー & キーウェイを用いた接着ブリッジの経過症例について  
○前島 健吾<sup>1)</sup>、山下 正晃<sup>2)</sup>  
1) 前島歯科医院 飯田橋デンタルケアオフィス、2) 和田精密歯研株式会社
- P-51** 上下多数歯欠損に対し骨造成を伴ったインプラント治療およびアタッチメント義歯を応用した長期症例  
○安藤 優  
医療法人メデイカルアート中央歯科クリニック

# 理事長講演

## 三位一体の審美歯科治療

大槻 昌幸

東京医科歯科大学大学院 う蝕制御学分野

座長：新海 航一（日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座）

10月16日（日）9：30～10：00

第1会場（コンサートホール）

PL

## 三位一体の審美歯科治療

Esthetic dentistry as trinity



大槻 昌幸

東京医科歯科大学 大学院 う蝕制御学分野

Otsuki Masayuki

Cariology and Operative Dentistry, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University (TMDU)

## 【略歴】

- 1984年  
東京医科歯科大学歯学部 卒業
- 1988年  
東京医科歯科大学大学院歯学  
研究科 修了
- 1988年  
東京医科歯科大学歯学部歯科保  
存学第一講座 助手
- 2000年  
東京医科歯科大学大学院歯学  
総合研究科う蝕制御学分野  
助教授
- 2008年  
東京医科歯科大学大学院歯学  
総合研究科う蝕制御学分野  
准教授

## 所属学会

- 日本歯科審美学会(理事長)  
日本接着歯学会(理事)  
日本レーザー歯学会(常務理事、  
編集委員長)  
日本歯科保存学会  
日本歯科理工学会  
口腔病学会  
日本レーザー医学会 他

日本歯科審美学会第33回学術大会は、新海航一大会長のもと、「形態・色彩・機能、三位一体の歯科審美」のテーマで開催されることになりました。大会長のご挨拶では、歯科審美の要素「形態・色彩・機能」、審美歯科治療の主たる分野「歯科保存、歯科補綴、歯科矯正」、歯科医療従事者「歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士」を挙げております。

「三位一体(Trinity)」とは、本来、キリスト教において、父(父なる神・主権)、子(神の子・子なるキリスト)、霊(聖霊・聖神)の三つが「一体(唯一神・唯一の神)」であるとする教えと聞いております。現在では、「三つのものが本質において一つのものであること」、または、「三者が心を合わせて一体になること」という意味で一般に使われることもあるようです。

本学会では、歯科審美学の定義(歯科審美学教授要綱：[https://www.jdshinbi.net/about/education/outline\\_20010423.php](https://www.jdshinbi.net/about/education/outline_20010423.php))において、「顎口腔における形態美・色彩美・機能美の調和を図る」ことを挙げております。三つの調和は大切ですが、個々の症例において、これら三つの要素の重要性の比率は異なります。例えば、歯のホワイトニングでは色彩美に重きがおかれませんが、欠損補綴治療では、機能美が非常に重要となります。審美歯科治療では、保存治療、補綴治療、矯正治療が中心となることが多いですが、その他の治療が関わってくることも多く、高い治療技術を有する多くの分野の専門医・認定医の連携が必要となります。また、審美歯科治療は、歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士のチーム歯科医療でもあります。会員構成において、歯科医師以外の歯科医療従事者の比率が大きいのも本学会の特徴です。さらには、歯科審美学の発展には、開業医、大学の研究者、企業の開発者の協力が欠かすことができません。本学会は、設立当初から勤務医を含む開業医の会員の比率が高く、これらの方々が学会運営に携わってきました。

この抄録を執筆しておりますのは、新型コロナウイルス感染症の第7波が日本を襲っている最中です。この学術大会が開催される頃には、流行が収まっておりますことを期待しております。新型コロナウイルス感染症が流行の中、歯科治療への受診を控える動きがある一方で、矯正治療やホワイトニング治療はむしろ増えているとも聞いております。なかなか人びとが明るくならない状況の中で、少しでも笑顔を取り戻すべく、審美歯科治療の貢献が期待されます。

# 一般口演

## 積層型ディスクにおける垂直的加工領域が 4ユニットジルコニアブリッジの焼結ひずみに及ぼす影響

Effect of vertical milling area on sintering distortion of 4-unit zirconia FPDs in the multi-layered disk

○平野 瑞穂、野本 俊太郎、川崎 貴裕、酒井 貴徳、四ツ谷 護、関根 秀志  
東京歯科大学 クラウンブリッジ補綴学講座

○Hirano Mizuho, Nomoto Syuntaro, Kawasaki Takahiro, Sakai Takanori, Yotsuya Mamoru,  
Sekine Hideshi  
Tokyo dental college Dept. of fixed prosthodontics

**【目的】** 近年、モノリシックジルコニア修復の有用性が注目されている。普及の一助となったのが単一組成積層型ジルコニアである。これは、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ 添加濃度を段階的に調整することで、1枚のディスクの中にシェードグラデーションが形成されている。加えて、従来のジルコニアは透光性が低いことが指摘されてきた。そこで高透光性ジルコニアが開発された。これを応用して近年では、エナメル側に高透光性ジルコニア、サービカル側に低透光性で高強度のジルコニアが配置された混合組成積層型ジルコニアが臨床応用されている。これにより、さらに審美的かつ高強度な歯冠補綴が可能となった。一方、ジルコニアの焼結収縮に伴う僅かな変形については、多くの研究がなされてきた。しかし、混合組成積層型ジルコニアの焼結ひずみについて言及した報告は無い。よって本研究の目的は、積層型ジルコニアにおける積層構成と垂直的加工領域が焼結ひずみに及ぼす影響を調査することである。

**【材料と方法】** 下顎臼歯2歯欠損を想定した金型模型上に、4ユニットモノリシックジルコニアブリッジを想定した実験用ブリッジを設計した。材料は厚さ18mmのジルコニアディスク、単一組成型(無色) [SC]、単一組成積層型(A3) [SCL]、混合組成積層型(無色) [MCL-n]、混合組成積層型(A3) [MCL-c] とした。各種3枚ずつから、1枚につき7個の半焼結体を切削加工した。加工領域を、ディスクのエナメル色側、中央、サービカル色側の3領域とした。両支台装置マージンの位置関係をデジタル計測し、半焼結と完全焼結後の差をそれぞれの試験用ブリッジに生じた焼結ひずみとした。

**【結果と考察】** 加工領域の違いによる焼結ひずみのバラつきは、MCLで大きく、SCで小さい傾向にあった。さらに、殆どの領域で同じ向きの焼結ひずみを観察したのに対し、MCL-nおよびMCL-cの中央では反対向きの焼結ひずみを認めた。SCLでは $\text{Fe}_2\text{O}_3$ 添加量の濃度勾配が、MCLではイットリアの濃度勾配が、焼結ひずみのバラつきに影響したと推察される。

**【結論】** ジルコニアディスクにおける積層構成と垂直的加工領域の選択は、焼結ひずみに影響を及ぼすことが示唆された。

一般社団法人 日本歯科審美学会 第33回学術大会  
プログラム・抄録集

---

大会長：新海 航一（日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 教授）

実行委員長：遠藤 敏哉（日本歯科大学 名誉教授）

準備委員長：鈴木 雅也（日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 准教授）

事務局：日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8

TEL：025-267-1500（代） FAX：025-265-7259

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

〒950-0983 新潟市中央区神道寺1-6-14

TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285

E-mail：jaed33@shinsen-mc.co.jp

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>